

活動記録簿

議員名 岩室敏和

年月日	平成28年5月2日			
表題	市政報告書			
相手方	市民			
配布部数等	16,500部			
○ 目的、内容、結果等	<p>市政報告書を作成し、自己布して 市民のみなさんに周知を図ると ともに、意見・要望等を聴取す る。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年3月議会での一般質問 (につけて) 視察の報告他 			
○ 活動に要した 経費	行先	利用交通機関	利用区間	金額
				円
				円
				円
				円
				円
				円
				円
経費内容	金額	内訳		
印刷費	127,000円	内訳： 16,500部印刷		
	円	内訳：		
合計	127,000円	使途項目（広報費）		
備考	添付資料⇒市政報告書通算第61号、領收書(原本)			

いわむろ敏和

明日の阪南市を考える
(2016年4月)

岩室敏和 市政報告書
通算第61号 執筆 岩室敏和
事務局：阪南市鷺取136-5
TEL・FAX (471) 1740
E-mail:iwamuro9230@docomo.ne.jp



阪南市議会議員
(前阪南市長)

幼保一極集中は白紙にもどし
あり方は市民参画で決定を

総合力により育成されてきた。等です。

阪南市小中学校及び幼稚園の整理統合・整備計画は市長時代の平成18年11月に策定し、幼稚園につきまし

ては、保護者のみなさんの

岩室敏和

みなさん、こんにちわ。前阪南市長の岩室敏和です。今日は「幼保一極集中は白紙にもどし、あり方は市民参画で決定を」につき、私の考えを申し上げます。

昭和1月8日 話題全般
協議会において、市より唐突に㈱ヤマダ電機阪南店跡に、4幼稚園と3保育所を1カ所にまとめる幼保一極集中の、(仮称)阪南市立総合こども館の説明がありました。

今回も、失敗した「道の駅」やバチンコ店跡の「防災拠点」事業同様、熟慮した内容ではなく、国の交付金の申請期限が迫っているとのことによる、決定ありきのあわただしい計画案でした。

る。③一方的に結論を出しきり、その後、市民説明会を開くのは順序が逆であり、許されることはないと述べた。④保育所、幼稚園は、地域の子育て、交流施設であり、地域密着が基本である。⑤乳幼児は「地域の宝」であり、長い年月、地域の市民力、

①市役所は最大のサービス業者
②市政に徹底した経営感覚
の導入。

③市民参画市政の推進。
を市政経営方針として市政
の経営に専念し、市長8年
間に142の新しい施策を
実施し、「安全・安心の住み
よい暮らしそよこまねらいの」「

余り、本年3月議会におもつては、幼保一畳集中の（仮称）阪南市立総合児童館の開運の予算には、次のように理由等により反対討論を行ひ、反対しました。

①今回の幼保一畳集中は本市の保育、幼児教育の根本にかかわることであり、阪南市自治基本条例に基づ

最終的には簡化した木造建築による、3拠点への統合を予定していました。

今回の保育所・幼稚園の一極集中計画案は、あまりにも一方的で唐突であり、とても市民のみなさんや保護者の方の理解をえられる内容ではありません。

市民参画による 公民協働のまち

(質問)自治体間競争市間競争が激しくなり、の格差は拡大する一方で、この現実は、人口収の増減、行政サービス優劣等に顕著にあらわっている。

・都
、そ
であ
や税
スの
れて
正等
複合施設として、地域交流
館を開館し、様々な活動の
場を提供していく。
このことをしまえ、提携
事項の検討や調査研究を行
い、より一層の市民参加に
よる公民協働のまちづくり
に取り組む。

空き家管理等を、社会福祉協議会やシルバー人材センター、自治会等の市民公益活動団体に事業委託。③社会人講師を公募し、国際理解教育や学びサポート、部活動講師等の事業委託。

により矢張りはやく、新しい公共サービスの構築を求められているが、行政だけでそのサービスをになつていくことは困難である。

それゆえ、本市においては、市民のみなさんの総合力をいかした、全市一丸となつた、市民参画による公民協働のまちづくりが不可欠と考え、その早急な制度の確立を提案する。

(具体策) ①提案型事業委託制度の確立。②認知症の方や高齢者の方の見守り、介護予防や要支援サービス

口は54137人でした。残念ながら5年前の調査より、2509人減少しています。市長時代には人口が6万人を超えたことがありました。しかし、今後とも人口は減る一方であり、さらに市の活力がなくなり、衰退が進行します。

そこで今回、全市一丸となつた市民参画による公私協働のまちづくりを提案しました。具体策が急務です。

現状のままでは倒産。箱モノから人への市政の転換と早急な財政再建が不可欠

本市の財政は、これまで表などを使い、くり返し申し上げてきましたように、危機的状況です。企業といえば、倒産寸前といえます。平成26年度決算では、本市の経営内容を表わす経常収支比率が99.8%となりました。70~80%が適正な数値ですが100%を超えると余裕がなく、現状では、平成28年度は新規事業ができなくなります。また、国からの借金である地方債務高は約300億円であり、肝心の市の収入を得る力である財政力も、残念ながら府内33市のなかで最下位です。

この現実のなかで本市では、鳥取中学校の改築以来、終わりのない「箱モノ」事業が続いています。当然のことながら、これらの事業は借金を増やすばかりです。今、肝心なのは、「箱モノ」事業をやめ、既存の公共施設を有効に利活用するとともに、子育て・福祉・教育等への施策を充実して、早急に数値目標を明確にした、財政再建を実施することです。

出前市政報告を行います。連絡先：TEL・FAX 072-471-1740

地方創生の国の政策の柱と、全国約1700の市町村が、生き残りのためあらゆる知恵を寄せ集めて琢磨し、創意工夫をして自立のまちづくりを実践している。

この現実の中で、「シヤツタ－通り再生計画」「まちづくりの個性と価値」の著書を出版し、まちづくりにかかる内閣府や国土交通省等の委員会をされたきた、和歌山大学経済学部長、足立教授とお会いしました。

足立教授は、留学され博士号を取得されたイギリスのまちづくりと都市再生、都市活性化等を専門分野とされており、実際に和歌山市の「ふらぐり丁」の再生等に、和歌山大学生とともに取り組まれており、若手

視察も今回で、通算
191回目となりました

今回新たに、和歌山県和歌山大学・岐阜県美濃加茂市を視察しましたので、その内容を簡潔にお知らせします。

和歌山県和歌山大学
岐阜県美濃加茂市 を個人視察

小口資金の調達 新規事業を実現



和歌山大学経済学部長の足立教授と

A black and white photograph of two men standing side-by-side. The man on the left is older, wearing a dark suit jacket over a light-colored shirt. The man on the right is younger, also in a dark suit jacket over a light-colored shirt. They are both looking towards the camera.



美濃加茂市長の藤井氏と

市長時代には、第二阪和国道員掛ランプのすぐ下に土地を確保し、単独での火葬場新築費を試算しましたところ、約6億円でした。

ンディングは資金調達を目的としている。クラウドファンディングとは、事業や活動資金を必要とする人や市区町村が、インターネットを通じて不特定多数の人々から、小口の資金を広く集める仕組みです。この制度を活用すれば、予算不足でできなかつた事業を実現することができます。

美濃加茂市ではすでに、女性の力で「中山道」を活性化する「プラットホーム」(拠点)を立ち上げており、順調に推移しているとのことです。同時に女性企業家の支援も実施しています。

藤井市長とは、「自治体の新たな資金調達と収入増」等につき意見交換。大いに共感・共鳴しました。クラウドファンディングがいたばん進んでいるのは福井県鯖江市です。牧野市長とはすでにお会いしましたが、この制度の活用どおりがま町村格差を広げます。

泉南市との共立火葬場事業者選定否決で完成長期の遅れ！

泉南市との共立火葬場
業者選定否決で
完成長期の遅れ！



いわむろ敏和
の著書

- 立命館大学卒業
 - 立命館大学大学院公務研究科修士課程修了
 - 学位 公共政策修士取得
 - 岸和田市役所勤務
 - 市長2期
 - 市議会議員4期
 - 全国市長会評議員
 - 大阪府市長会副会長
 - 大阪府市町村職員互助会理事長
 - 羽衣国際大学客員教授

最後までお読みいただき
ありがとうございました
次回発行は7月です。

活動記録簿

議員名 岩室敏和

年月日	平成28年(1)月2日			
表題	市政報告書			
相手方	市民			
配布部数等	16,500部			
○ 目的、内容、結果等	<p>市政報告書を作成し、自己布して 市民のみなさんに周知を図ると ともに、意見・要望等、聴取する。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 平成28年9月議会での一般質問 (ついて) • 視察の報告他 			
○ 活動に要した 経費	行先	利用交通機関	利用区間	金額
				円
				円
				円
				円
				円
				円
				円
経費内容	金額	内訳		
印刷費	127,000円	内訳： 16,500部印刷		
	円	内訳：		
合計	127,000円	使途項目（広報費）		
備考	添付資料⇒市政報告書通算第63号、領収書(原本)			

いわむろ敏和

明日の阪南市を考える

(2016年10月)
岩室敏和 市政報告書
通算第63号 執筆 岩室敏和
事務局：阪南市鳥取136-5
TEL・FAX (471) 1740
E-mail:iwamuro9230@decomp.ne.jp



阪南市議会議員
(前阪南市長)

地域包括ケアシステムの構築による地域の再生を

みなさん、「んにちは。前阪南市長の岩室敏和です。今日は「地域包括ケアシステムの構築による地域の再生を」につき、私の考えを申し上げます。

進展のなかで、2025年問題が顕著になつてきました。同問題とは、厚生労働省の予測によれば、2025年に後期高齢者の人数が現在の1600万人から2200万人になることです。そこで起きてくるのが、いかに介護サービスを充実するのか、という問題です。

平成27年度末現在、本市の要介護認定者数は、3016人となっています。当然のことながら、この数は今後も増加する一方です。

議会で一般質問を行い政策提示をし、その内容は市政報告書前号で報告いたしましたが、「この制度は今後の地域再生の「要」となるため、視点をかえてもう一度記述します）。

この現実の中で、多く
の高齢者のみなさんは将来
要支援・要介護になられて
も、住みなれた地域で安心
して生活できる「」を望んで
られています。その生活を実
現するために必要不可欠な
のが、地域包括ケアシステム
の構築です。(地域包括
ケアシステムの早急な構築
につきましては、本年6月

提供される制度であり、「」の制度がある」と決意の在宅サービスを安心して受けることができ、自立が可能となります。

図書館の活性化について

(質問) 現在、全国に公共図書館が約3200ある。これまでおもに図書館は、利用者をふやし、図籍の貸出し冊数を増加することが目的であった。

しかしながら、インターネット等で必要な情報が國

時に手に入るようになった情報社会の現今、図書館も時代に適応し、生き残るた

図書館は本来、情報の登
信拠点であるとともに、地
域文化の創造と発展を支

また、市民のみなさんの立
流観点でもある。

かし、やうやくの図書館の本

在活性を高める活性化が最も考えられる。

(具体策) ①ビジネスコー

ナーの設置。②まちづくり情報コーナーの開設。③イベント開催時の他の行政分野との連携。④自由に本が読める読書席の拡充。⑤授乳コーナーの設置。⑥一時保育サービスの開始。⑦館内でのコーヒー等の飲料の自由化。⑧図書館運営の市民参画・公民協働の推進。

(回答) 今日、公共図書館に対しては、読書推進という従来の役割に加え、住民の生活や地域の産業に役立つ情報を提供するなど、課題解決や地域の活性化につなげる役割が求められています。それゆえ、情報発信力の強化や地域資料の充実も含め、先進事例を調査研究し、活性化を推進していく



西日本新聞

幼保一極集中は白紙にもどし3拠点化を

平成28年6月6日、総合こども館整備特別委員会で、東京都立川市の民営幼稚園である「ふじようちえん」を視察してまいりました。同幼稚園は、45年間「モンティソーリ教育」を基本に、「子供自ら育つ力」をはぐくんでいます。平成28年4月1日現在、在園人数は642人です。同園舎は自然と一体化した、特徴のあるだ円形をしており、中心に広々とした芝生の園庭があり、そのまわりを簡単な木を主体とした教室でかこみ、平屋の上は一周180mの運動場になっています。この「ふじようちえん」と総合こども館予定地を対比したとき、あまりにも環境格差が大きすぎ、幼保一極集中は白紙にちどし、3期点化することを再認識した次第です。

出前市政報告を行います。連絡先：TEL・FAX 072-471-1740

再配置する理由は、①少子化・超高齢化。②公共施設の一斉更新問題。③一市三町の合併にともなう公共施設の重複の解消。④厳しい財政状況。等です。

基本理念として、ムリ・ムラ・ムダの解消と、箱干モノに依存しない行政サービスの提供を目的としています。

再配置対象施設は357施設。その内、第一次実施計画では41施設を再配置する予定であり、効果額は約140億円です。

西尾市の公共施設再配置は、地元企業との官民連携による事業の推進を特徴と

公共施設の再配置で 140億円の効果額

今回新たに、愛知県西尾市を視察しましたので、その内容を簡潔にお知らせします。

宗南市と共立て進めている火葬場の建設事業者が、ようやく決定しました。

泉南市との共立火葬場
ようやく建設事業者決定



西尾市長の榎原氏と

愛知県西尾市を個人視察

三
二

しています。
　　榎原市長とは「効率的・
効果的な公共施設の再配置」

のあり方」等につき、長時間意見交換。大いに共感し参考となりました。

公共施設の再配置につきましては、平成24年3月議会で具体策を提示。先進都市である千葉県佐倉市長の

市である。交換依頼に且の
藤氏と意見交換しました。

請負契約価格は、工事内容が前回同様であるにもかかわらず、約1億5千万円増加し、16億4500万円（消費税等を除く）で入札予定価格の98.5%です。

共立火葬場事業は家南市へのおまかせの事務委託であり、泉南市の主導で進められており、直接にチエックができないのが残念です。

当初計画では火葬場の完成は、平成28年2月の予定でしたが、長期の遅れです。

成26年度の約660万円の黒字以外は赤字が続いている、累積赤字は約6億1000万円となっています。

この内、平成23年度と平成24年度の赤字額合計、約3億9400万円は、本市が負担しました。

市政報告書通算第46号（平成24年7月発刊）で指摘しましたように、収益を増加し経営を安定させるためには、さらなる高度医療への対応整備と、救急医療体制の充実が不可欠と考え

年 度	利 益
平成23年度	▲160,314,000円
平成24年度	▲234,117,000円
平成25年度	▲168,559,000円
平成26年度	6,618,000円
平成27年度	▲ 54,291,000円

年 度	利 益
平成23年度	▲160,314,000円
平成24年度	▲234,117,000円
平成25年度	▲168,559,000円
平成26年度	6,618,000円
平成27年度	▲ 54,291,000円

市民病院の経営状況 ▲=赤字額

市民病院の経営状況

最後までお読みいただき
ありがとうございました。
次回発行は1月です。



いわむろ敏和
の著書

大阪府市町村議員互選
理事長

いわむろ敏和 略歴